

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	「ソーシャルワーカーの専門性を支える臨床的態度」における事例研究
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 医療安全課 瀧本 淳子
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年3月
対象者	2000年3月~2019年6月 上記の間に、当院の地域医療連携部 患者相談支援窓口（医療福祉、ソーシャルワーカー相談）でソーシャルワーカー瀧本淳子が相談を担当した患者さん。
当該研究の意義・目的	病院の臨床現場で多くのクライアントの支援を行ってきました。その中でも、ソーシャルワーカーの支援の経過でクライアントが抱える生活問題や生活歴や気持ちを聞いた際に、支援をどのようにするのではなく、こちらの気持ちが動き支援が進んだケースがありました。ソーシャルワーカーの主観と感性が関与していることが大学院の学びの中で理解できました。ソーシャルワーカーが、主観と感性を大切に、患者さんの話を聴く態度の研究を行います。そのことは、人間関係学に基づく臨床的態度についての研究につながり、人が人を支援する基盤になることを明らかにしたいと考えています。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、ソーシャルワーカーがこれまで担当して患者さんが抱える個別の生活問題に対して支援をおこなった事例を元に、患者さんが話される苦悩する身体的・精神的・心理的な状況をソーシャルワーカーが聴いた時に感じる主観と感性を基に支援者の聴く態度やかかわる態度についての研究を行います。そのため、患者さんとの初回面接から終了面接までの支援経過で聞いた生活歴や気持ちなどの情報を元に研究を行います。 患者さんに新たにインタビュー調査や費用が発生することは一切ありません。さらに、生活史や病名や障害名など個人が特定されることはありません。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 <u>研究に用いる情報の種類</u> ソーシャルワーカーの支援記録で家族関係や生育歴も含めた生活史や病名や障害名、電子カルテからのソーシャルワーカーの相談支援のうち生活史や心理・精神的な気持ちなども含めた支援記録を使用します。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 医療安全課 瀧本 淳子 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（5443）

作成日： 2021年2月2日